館の パスポート

シリーズ 126

毎年 1月17日に全市一斉総合防災訓練を行います!

箕面市では、阪神・淡路大震災が起きた1月17日に毎年、曜日に関わらず全市一斉総合防災訓練を実施しています。 <mark>|来年の訓練は月曜日です!</mark>| それぞれの場所で、それぞれの立場で、訓練に参加してください!

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、規模を縮小したり、開催を中止する可能性があります。

(黄色いハンカチ作戦の流れ)

地震発生! 揺れが収まったら…

二次災害を予防してください! 靴をはいて家の中を点検し、



大地震の後、家にいる家族が全員無事だったら、黄色いハンカチ (大きく目立つ黄色い布)を玄関先などに掲げてください! 災害時、ご近所さんに「うちは大丈夫!」と

大きく目立つ黄色い布なら何でもOK!

知らせる目印です!



黄色いハンカチ作戦を行わないと…

黄色いハンカチがないと、1軒1軒「ピンポン」して 確認をするので、とても時間がかかります。



安否確認に時間がかかり、 助かる命を救えません!

いちいち「ピンポン」しなくても

掛けたり!

資色いハンカチ! は大丈夫だ

郵便受けに

はさんだり!

迅速な安否確認のために、大きく目立つ黄色い布を各ご家庭で必ず用意してください!

箕面市では、迅速な安否確認をするために

平成30年6月18日(月)、大阪府北部を震源とする震度6弱の地震が発生し、市内では建物が半 壊するなどの被害が発生しました。一方、地震発生直後の混乱の中、「黄色いハンカチ作戦」を行った 自治会*では、迅速な安否確認をしていただきました。

大規模災害時には、隣近所の人たちで素早く安否確認を行い、救助が必要な人を早く見つけるこ とが、命を守るために非常に重要です。災害時の被害を最小限に抑えるため、今後とも「黄色いハンカ チ作戦」にご協力をよろしくお願いします。 ※自治会にはマンション管理組合を含みます。

私たちは「黄色いハンカチ作戦」を進めています!

小野原東の小金属自治会にインタビュー

小金尾自治会 防災三か条

- ●第一条 身の安全と火の始末
- ●第二条 避難に備える状況を冷静に判断
- ●第三条 向こう三軒両隣りの安否確認

防災特別委員会会長 小原 不二夫さん

防災に関する自治会の心構えとし て「防災三か条」を定め、各項目の詳 細や、災害の備えについて書き加えた 書面を作成し、全戸に配布してい ます。災害時、隣近所で起こっ たことは「他人事」ではなく 「自分事」として対応でき るよう、今後も自治会全 体で防災意識を高めてい きたいと考えています。

自治会長 佐野 賢さん

小金尾自治会は、一戸建てが 🛕 多く集まる全87戸の自治会で す。いざというとき、迅速に安否 確認ができるよう、オリジナルの黄 色いタオルを作成して全戸に配布し、

災害時は門扉などの目立つ場所に掲げるように しています。また、自治会を7つの班に

分け、班ごとに黄色いタオルの掲出 る体制を整えています。毎年1月17 日の全市一斉総合防災訓練では、 ー連の流れを実践し、迅速か つ的確に安否確認ができ るよう取り組んでいます。

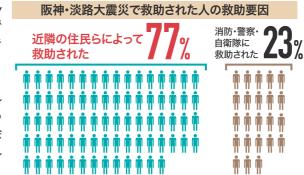
小金尾自治会オリジナルの

▼苗色いタオル

阪神・淡路大震災では 8割近いかたが 地域の絆で命を救われました

地震などの災害が発生し たとき、公的な機関だけで 全ての命を救うことはでき ません。

阪神・淡路大震災では、 消防や警察などに救助され たかたは2割程度しかおら ず、約8割のかたは、自治会 など地域のかたに救助され ました。



隣近所の素早い安否確認が、多くの命を救うことになります!

左ページで「黄色いハンカチ作戦」の流れを確認してください!